



2378
270

恋川春早作
五雲亭貞秀画
全部六冊合局

忠臣再講釋卷上

天保壬辰孟春發鬻
伯樂坊買
錦耕堂版



壹



夫君臣之道和辭也。の。夜客多本忠臣藏又太平記忠臣講釋
初登山は伊呂波から忠との字と義との文字を世々の作者が忠臣講
釋説ひろけ作り変へいのもうぬありの頭をさき書捨物。塩谷
の目と寝素考へてもやんやと出来ぬ新作よりのこる書捨物。塩谷
やんやと評判記上上吉を願ふる。潮者の鯛の目々。月雪花の云ッ
道具世とてあそぶ骨とる。吸口の匂をささりの袖の香やのあく大極
美人酒あがらんせとのれと待たれ。のまはれて居る六冊のちよのと
序を書それろく跡とと硯を鳴ら一毫を揮ふ。

天保三壬辰年正月新刺
恋川春町識



右 其友

花乃

刺

やう

おのん

あんのそのと

いふ題めく

るえのそはと



大和志
文五
政之
後の
其友
あと
あ
い

風雅集

命誠た

うらや

あそ

ふは

道より

あのみ

み
あはめや
源致雄



矢左間 十六郎 信厚

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十



つよし君

寿盃人

うき
あはれ
はるるまがゆ

川舟乃
あがま

辻君

於利江

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十



嘯浦

花
宿

笛吹く
格子や
のね

大星力弥良方
竹名主竹

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

小野のぶくへいお茶の
 小野田九平娘
 ことしせうおんま
 琴師匠於組



つぎ
 おひま
 あひ
 文句と
 ひさ
 澤まがら
 人々
 閑せん
 花の
 組歌

東毛茶

孝集
 天の川おひろく
 種

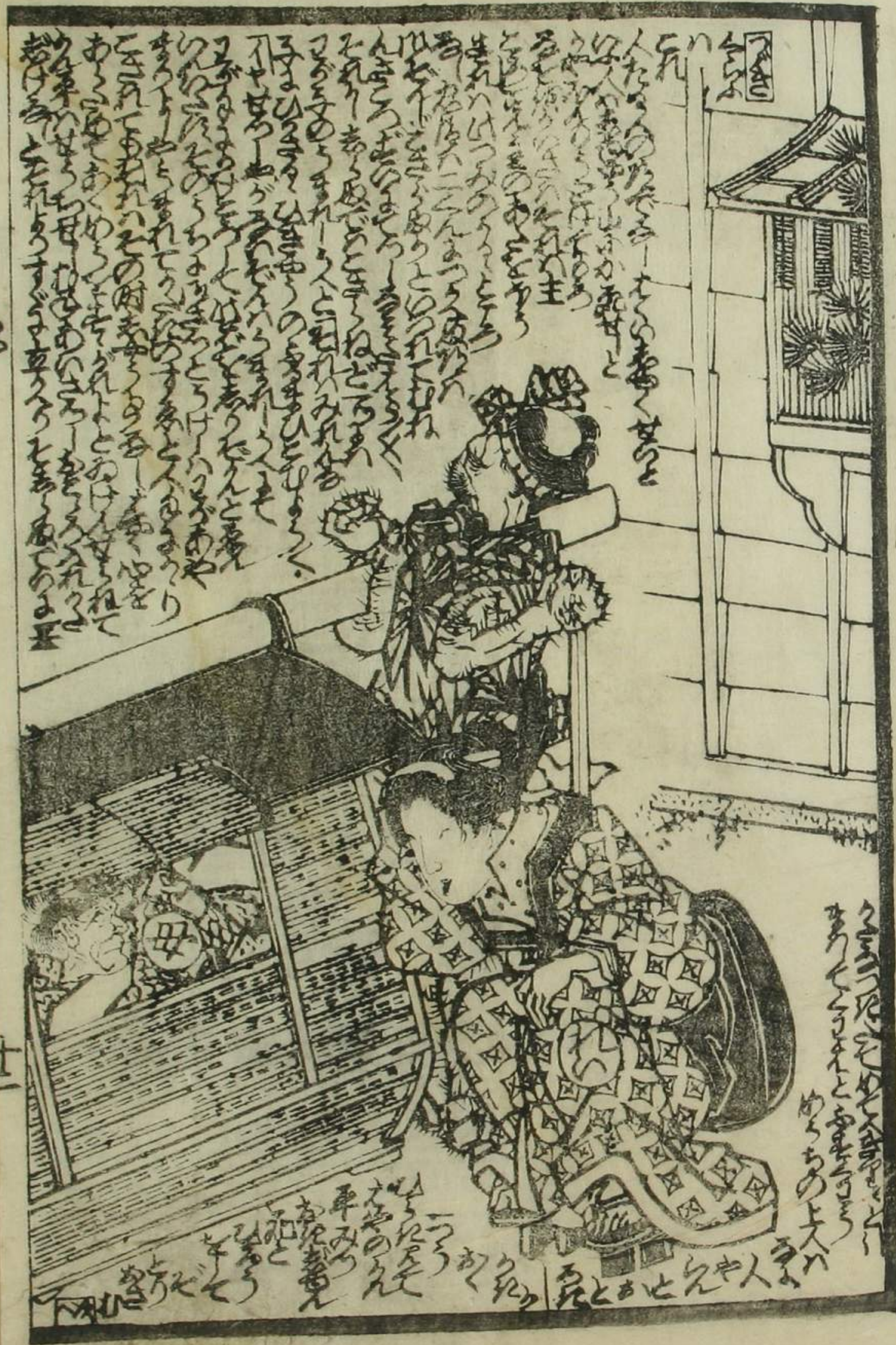


東の川やぎへい
 天川屋義平

乃
 星純あまのつら
 けり

孝集

四



こうきん

十一



講釋余六冊



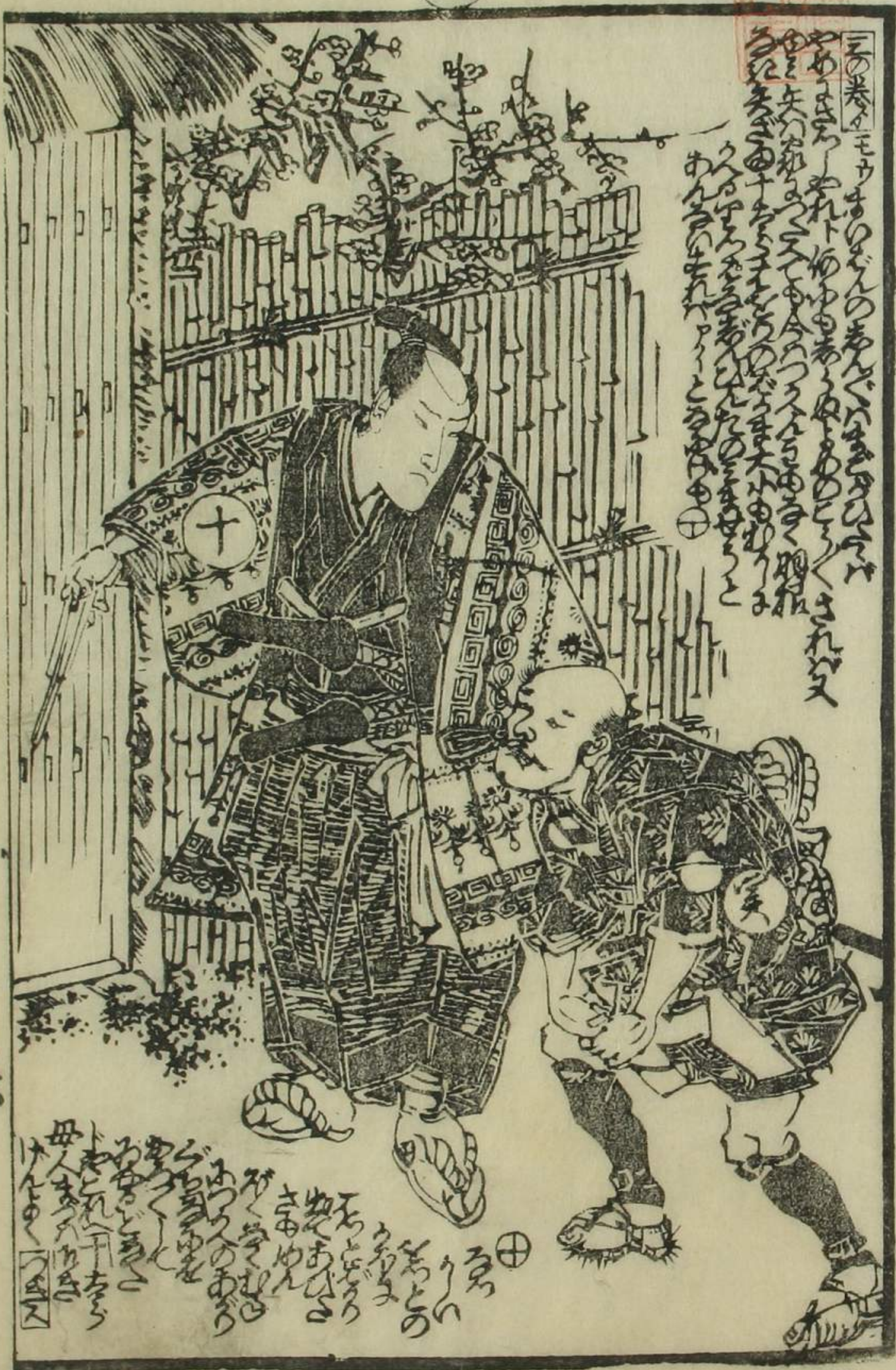
下

五雲亭貞秀画 戀川春町作



此の女は貞秀の
 恋川春町に
 描かれたもの
 である。この
 女は、恋川
 春町の娘で
 ある。この
 女は、恋川
 春町に
 描かれた
 ものである。

四の巻へ
 恋川春町の
 娘である。この
 女は、恋川
 春町に
 描かれた
 ものである。



三の巻のモリチのどんたのあやういふは
 やあはちやれト物もあやういふは
 むしあはちやれト物もあやういふは
 むしあはちやれト物もあやういふは

母とていふは
 母とていふは
 母とていふは
 母とていふは

忠臣あやういふは

十進舎一丸也

あやういふは

下口電

牛屋の工芸師

三の巻二丁目

山口屋上持

あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの



あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの

あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの




あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの
あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの

あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの

あつちの工をいふわけにせうしてせうれがうらやまの
きんともいふゆゑにせうしてせうれがうらやまの

Handwritten text at the top of the page, including characters like 福, 富, 貴, 徳, 財, 子, 孫, 興, 隆, 萬, 事, 如, 意, 萬, 事, 成, 功.



Handwritten text at the bottom of the page, including characters like 大, 小, 田, 代, 三, 郎, 宗, 隆, 一, 門, 下, 田, 代, 三, 郎, 宗, 隆, 一, 門, 下.



Multiple columns of handwritten text are interspersed throughout the illustration, including phrases like 父, 母, 弟, 妹, 兄, 弟, 姉, 妹, 夫, 妻, 子, 孫, 兄弟, 姊妹, 夫, 妻, 子, 孫, 兄弟, 姊妹, 夫, 妻, 子, 孫.

ついでに...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



武田

九二

女子...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



武田

九二

世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが...



ついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが...

世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが...



世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが... 世のついでにわけが...

ついでにさなごころの人のせいの
さうりんとまをどとあまを
まらぬ入りのせんをせり
たととせんののせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり



このこころの
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり

おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり



おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり
おれいりれくせんをせり

御世書

十

